

関高ニュースレター2021 No.18

命を守る訓練・講話「命を守る行動とは何か」 令和3年11月5日(金)・11日(木)

11月5日(金)「高校生防災アクション」の一環として地震を想定した「命を守る訓練」を実施しました。本校生徒の防災リーダーが計画した災害想定を基に、非常事にとるべき行動を考える実践訓練となりました。11日(木)には、村岡治道氏(清流の国ぎふ防災・減災センター)を講師としてお招きし、「命を守る方法を考えよう」のテーマでご講演いただき、校舎や自宅の見取り図から危険個所をチェックし、災害に対する「自助」の意識を見直しました。教室に戻った後は、減災カテストを実施しました。



シェイクアウト訓練



本部へ報告



傷病者の搬送



講演の様子

私は、今まで地震などのニュースを聞いても、どこか他人事のように思っていました。しかし、今日の講演を聞いて自分の命を守ることができるのは自分であり、自分で備えることがとても重要だと分かりました。早速、教室や自宅の点検をしようと思います。先日行った「命を守る訓練」でも多くの課題が見つかりました。村岡先生のお話を参考にして、学校全体で防災・減災に取り組んでいきます。ありがとうございました。

厚生委員長 後藤 玲奈

